

目標達成計画

作成日:平成 25年3月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (10)	個別ケアを推進する一環として居室担当者制を取り入れているが、担当のお客様やご家族様との関わりを更に強化しなければならない。	居室担当者が、ご家族様との連携を密にし、お客様の自立支援に向けて努める。	①居室担当者が、担当のお客様のADL・健康・生活全般の観察を通じた状態の変化と現状の把握に努めご家族様と連絡を密にし連携を図る。 ②居室担当者がケアカンファレンスで、より多角的な視点からの意見交換と討議を尽くし、ケアプランに反映する。	12ヶ月
2	20 (8)	地域社会とのつながり・なじみの関係づくりを今まで以上に推進する必要性がある。	社会とのつながりを大切に、安心して住みなれた地域での暮らしを支援する。	①外出の機会を増加する。 ②地域とのつながり、社会の役割という観点から散歩の時、近隣の掃除を行う。 ③誰もがグループホームへ気軽に立ち寄ることが出来るような環境づくりを行う。 ④デイサービスのお客様との交流を推進する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。